

## 平成29年第8回木島平村教育委員会定例会会議録

1 開催日時 平成29年8月23日(水) 15:30~17:21

2 場 所 木島平村役場 議員控室

3 出 席 教 育 長 内堀 幸夫  
同 職 務 代 理 佐藤 秀雄  
委 員 山崎 麻紀  
委 員 本山三智子  
委 員 池田 剛

4 出席した事務局職員

子育て支援課長 山寄 真澄  
生涯学習課長 高森 喜久  
子育て支援係 芳川 秀人

1 開 会 午後3時30分

2 前回会議録朗読承認（署名）

平成29年6月28日開催の第6回教育委員会定例会会議録及び平成29年7月11日開催の第7回教育委員会定例会会議録を山寄子育て支援課長がそれぞれ朗読し、出席委員全員が内容を確認のうえ、全員が承認し署名した。

3 教育長報告

- (1) 生涯学習課職員の訃報と8月1日付人事異動について報告した。
- (2) 第7回定例会以降の主な会議等の出席状況等について報告した。
- (3) 7月18日開催の市町村教育委員会と県教育委員会との懇談会の際に示された資料に基づき要旨を資料1（第3次長野県教育振興基本計画、小学校外国語の移行措置、県費負担教職員人事の方向性、学校現場における業務改善、学びの改革基本構想他）により報告した。

4 議 事

(1) 議案第2号から第5号

① 議案第2号 平成29年度木島平村一般会計補正予算（第4号）について

	○説 明
内堀教育長	それでは議事に入らせていただきます。 まず（1）議案第2号から第5号ということで、9月定例会が9月1日開会で予定されています。その中で補正予算等についてお願いすることを予定していますので、概要についてお諮りさせていただきたいと思います。
山寄課長	○資料2に基づき議案第2号の子育て支援課関係を説明
高森課長	○資料2に基づき議案第2号の生涯学習課関係を説明

○質 疑

内堀教育長

議案第2号 平成29年度木島平村一般会計補正予算（第4号）についてご説明を申し上げます。ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

小学校の石垣は先ほど説明があったとおり、やってみたら以外にひどかったということで、早いうちに手を打ちたいということです。

ご質問、ご意見が無いようでしたら議案第2号についてお認めいただけるということでよろしいでしょうか。

教育委員

良いです。

○出席者全員が承認した。

② 議案第3号 平成29年度木島平村学校給食特別会計補正予算（第1号）について

○説 明

内堀教育長

それでは続いて議案第3号 平成29年度木島平村学校給食特別会計補正予算（第1号）について説明を申し上げます。

山寄課長

○資料2に基づき議案第3号について説明

○質 疑

内堀教育長

議案第3号 平成29年度木島平村学校給食特別会計補正予算（1号）について説明を申し上げますが、ご質問、ご意見等ございますか。中身は繰越金の話ですのでお認めいただければと思いますがよろしいでしょうか。

教育委員

はい。

○出席者全員が承認した。

③ 議案第4号 平成29年度木島平村奨学資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)について

○説 明

内堀教育長

では、続いて議案第4号 平成29年度木島平村奨学資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)についてご説明申し上げます。

山寄課長

○資料2に基づき議案第4号について説明

○質 疑

内堀教育長

議案第4号についてご説明申し上げましたが、質問、意見等ございますか。これは決算に伴う調整でございますのでご理解いただければと思います。よろしいでしょうか。

教育委員

はい。

○出席者全員が承認した。

④ 議案第5号 平成30年度から使用する小学校教科用(道徳)図書の採択について

○説 明

内堀教育長

それでは議案第5号 平成30年度から使用する小学校教科用(道徳) 図書の採択についてご提案申し上げます。

山崎課長

○資料2に基づき議案第5号について説明

○質 疑

内堀教育長

議案第5号については説明のとおりであります。先ほど話がありましたように連絡協議会では8つの図書のうち光村図書が一番相応しいということで選ばれたということです。何か意見、質問等ございましたらお願いします。

本山委員

こうやって見ると読み物としてもすごく読みごたえがありそうですね。自分でも見たいと思うものがあります。教科書というよりは読み物のようですね。

内堀教育長

他に何かございますか。

山崎委員

本のサイズ感も昔は確か別冊で小さかったりして扱いにくかったと思いますが、同じ大きさというのもカバンの中に入りやすかったりで良いと思います。

内堀教育長

8つ全て見せてもらったわけではないですが、見た中では良かったのかなという感じはしました。

山崎委員

8つの出版社でかなり内容は違ったのでしょうかね。

内堀教育長

大きな意味の内容は変わってないと思うのですが、それでもそれぞれ出版社によって特徴的なものはあります。分かりやすいところでは色使いが非常に原色に近かったりするところもありますし、今見ていただいているのはいわゆるユニバーサルデザインで穏やかなような。大きさ自体ももう少し大きめなものというところ

ろもあります。そういったものを色々見られた中で、大きさ、デザイン、中身を含めてこの地域にとって一番相応しいということだろうと思います。もし興味がおありでしたら教育委員会に他の会社の物もありますのでお読みいただければ。

山崎委員

以前、全部並べられてこの時間内で全部を見てくださいということもあったのですが、大丈夫です。

内堀教育長

中高飯水の連絡協議会でそれぞれ専門の調査員の方を選んで調査をいただいた結果ということでございますので、その結果に基づいて木島平村教育委員会としても採択をさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

教育委員

はい

○出席者全員が承認した。

## 5 協 議

### (1) 行事等の共催後援の承認について

○説 明

内堀教育長

5 協議 に入らせていただきます。行事等の共催後援の依頼が3件来ていますのでお願いします。

山寄課長

○資料3に基づき説明

① 「わたしたちの街の社会見学 北信濃版 2018年度版」

冊子作成・寄贈 後援

申請者 アド・コマース株式会社

2018年2月発行予定(2018年度教材として)

木島平村内の小学校へ寄贈(4・5年生)

内堀教育長

県の教育委員会、地域の教育委員会が後援をするということを知っています。アド・コマーシャルさんで作って、村内の小学4・5年生に配布をいただくということなので後援について承認したいと思っておりますが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

佐藤委員

寄贈ですか。大変ありがたいことです。良いと思います。

内堀教育長

いかがでしょうか。無ければ後援させていただくということでもよろしいでしょうか。

それでは2件目をお願いします。

山寄課長

○資料3に基づき説明

② 平成29年度「地域ぐるみの共有フォーラム」 後援

主催者 北信教育事務所、北信地区社会教育委員連絡用協議会

共催 飯山市教育委員会

日時 平成29年10月14日（土）

13：30～16：40

会場 飯山市公民館

内堀教育長

教育事務所が主催ということもありますし、会場が飯山市ということでもありますので、承認をさせていただければと思います。ご意見等ございますでしょうか。

よろしいですか。それでは承認ということでもよろしく申し上げます。

では、3件目お願いします。

山寄課長

○資料3に基づき説明

③ 第一回信州学びの会 後援

主催者 信州学びの会 代表者 丸山幸一

日時 平成29年10月1日（日）

13:20～17:10

会場 中野市立中野平中学校

内堀教育長 佐藤学先生を中心にした学びの共同体研究会というのがあるようですけれども、その信州版ということのようです。ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

佐藤委員 木島平の実践していることですので良いと思います。

内堀教育長 他に何か。なければ承認するというところでよろしいでしょうか。

教育委員 はい。

○出席者全員が後援することについて承認した。

## (2) その他

内堀教育長 それでは5 協議 (2) その他

山寄課長 特段ありません。

内堀教育長 皆さんの方から協議事項として何かございますか。

池田委員 7 その他 (1) 当面の日程を見ると市町村教育委員会の人事懇談会と県教育委員会と人事に係る連絡会というのが始まっていると思うのですが、一応教職員等の人事については教育委員会が責任をとることになっているわけで、教育長さんにですけれども、人事計画の具体的なお名前は結構ですので大事に考えておられる基本的な方針等がありましたらこの場で共有して共通理解をしていきたいと思うので、ございましたらお願いします。



内堀教育長

はい。ありがとうございます。今、池田委員さんからお話がありましたようにこの行事予定でいきますと8月28日、市町村教委というのは中高地区の教育委員会の中での段階です。こんなことで始まるということで、今、学校長等で話し合いを進めていますが、いずれにしてもお話ししましたように木島平村については共同的な学びということで実践していますので、こうした教育自体が村に定着しております。それをきちんと担保していただくような形でお願いしたいと考えております。子どもたちにも今の教育というのは色々定着していると感じていますし、この間のコミュニティ・スクールの話ではないのですが、コミュニケーション能力は非常に高いという評価もいただいています。校長が変わるから180度変わってしまうとか、教員が変わるから180度変わってしまうというのはあってはならないと思っていますので、みんなで培ってきたことはきちんと継承されていくということをお大前提に人事については取組んで参りたいと考えております。また、ご意見などいただければと思います。

池田委員

加えてよろしいですか。校長先生の人事等については一応教育委員会によっては出身者とかですね出身者に限らずいろんな方針をもっていると思われませんが、教育長さんのお話の中では安定継続性を出すと。それについては、特に村内であるとかの出身を問わないという方向で考えていって欲しいですね。

内堀教育長

村内であるから優先するとか村外で配慮するとかいう考えは持っておりません。先ほど申し上げたように、この共同的な学び、それから木島平型の一貫教育というのがきちんと担保されるということをお大前提に皆さんのご意見を伺っていきたいと思っています。その中で木島平の方が結果としてふさわしい方がいらっしやればそういうことになるかもしれませんが、それが第一にということではありません。

池田委員

今お話をお聞きして、安定性と継続性、それから人材等については第一のお大前提に従って内外出身を問わないというお考えに賛成です。

内堀教育長

池田委員さんからそのようなご意見をいただきましたが、丁度そういう時期を迎えますので、皆さんの方からご意見がございましたら併せてお聞きできればと思います。いかがでしょうか。

佐藤委員

資料を見るとブロック人事といいますか、そちらの方に大分何かブロック採用とかブロック人事というのかそんなような話が載っていましたがけれども、いわゆる長野県の特徴が全県人事ですけれども、教員人事になると採用出身地域というのが非常に偏りがあるって大変だという話が載っていますけれども、特にへき地と呼ばれるようなところにはなかなか異動希望がないというそういう問題はいろいろと昔からあるのですけれども、ブロック人事というのが進んでいくことによって、北信から南信へ行けとか、逆に南信の人が北信の秋山とかへき地へ行けとかそういったことが非常に難しくなっているような話もあります。教員同士の結婚によって異動が二人を一緒に異動させなければいけないとかいろんな問題があるのですけれども、ブロック人事に移行していくことによってそういった点が解決されていくのかどうか、その辺も非常に難しさが沢山あると感じています。

内堀教育長

確かに今のお話のようにブロックの中に必要とされている数とその中で教育できる数が必ずしもすべての地域が、バランスがとれているわけではないし、もちろん年齢による差もあるし、担任される教科の問題もあるので非常に難しいことだと思います。そういう意味でいろんな苦勞をされて今の形態があるのだと思うのですけれども、先ほどのお話のようにへき地になかなか行きたがらないというようなこともあって、それについてはお渡しした資料3の県費負担教職員人事に係る今後の方向性についての16ページ、17ページ辺りにいろんな課題だとかが載っています。いろんなご意見がある中でいろんな取組みがされていることだと思いますけれども、村の教育委員会とすれば人事交流は当然あって当たり前だと思っていますので、出る方もいらっしゃれば、当然木島平型の教育に相応しい方をお呼びしなければいけないということがありますので、先ほど申しあげたように、培ってきたことをきちんと担保されるような形を人事で行われるように努力して

行きたいと思っています。

佐藤委員

この間のテレビで少しだけ流されただけなのですが、具体像がまだ分かってないのですが、文科省の方の予算の何かで、例えば中学校の部活動をやっている先生を外部の指導者にお願いすると何か補助金が出るような報道がありました。小学校の方では先生をサポートする何か、印刷などいろんな手伝いをしてくれる人を入れると補助金を出すようなことをメディアで流れたのですが、そんな話が具体化してくるのでしょうか。

内堀教育長

直接的に正規なルートの話は今のところありませんが、学校現場における業務改善加速事業があるので、その中に佐藤職務代理がおっしゃった中学校の話がニュースで接したことがあります。いま中学校の部活動というのは、基本的にはその中学校の教職員が担うということですが、なかなか業務改善が進まないという中で、地域の方々をある程度の報酬を払ってお願いするというようなことは具体的に考えられているという話は聞いています。木島平についても部活動をどうするかという部分もあるのですが、現状ですと男子は野球、女子はバレー位しかないんですよね。バレーに男子も入っているようなんですけども、それは大会に参加できないという前提でやっているようですし、全体の人数が少なくなってくる中で子どもたちの部活動をどうしていくのか。地域スポーツというような形でやっていくのが良いのか。それともう一つは指導者をしていいのか。それは今後国の動向、県の動向を見ながら考えていかなければいけないと思います。少し話題はそれてしまいましたが、飯山市にスポーツ少年団がありまして、そこに20名くらいの子どもたちが参画をしています。それは木島平だけでなく野沢温泉村からも、栄村は少人数が行っているようです。そうした活動が地域の中で行われているということがありますので、そうしたものに対して、飯山市さんが全面的にバックアップされていますけれども、地域としてどういうバックアップができるのかということも、もう一つの課題かと思っています。また、予算との中でそういう機会があるかと思いますが、そういう動きがあるということです。小学校の話は聞いておりません。また情報がありましたら提供したいと思います。

佐藤委員

全く聞かれてないですか。本当に日本ではあまりやってないけれども、海外では保護者とか学校に入って先生のお手伝いをする、サポートするという言い方ですが、そういうことは日常的に行われているそうです。日本ではそういったことはなかなかできなかったのを、少しずつ入れていこうとする文科省のあれなのかなという気がしたのです。

内堀教育長

事務のお手伝いをするといった意味では、木島平小学校では実はやっています。それはコミュニティ・スクールという形の中で、例えば家庭科であるとかそういうところに地域の方をお願いして、担任の先生プラス例えば技師の方に見てもらうだとか、そういう人をお願いして実際に教室に入らせていただいている事例があります。そんなような方々が加わってくるのだと思いますし、それはいま、学校運営協議会、池田剛さんもいらっしゃいますが、いろんな形の中で、地域で学校を支えていくということで取組みの一つだと思っています。ですので、学校から要請があれば、広くお願いをして参加いただけるような仕組みを作っていきたいと思っています。

山崎委員

話は戻ってしましますが、少し前に先生の負担がすごく大きいので、専門のスポーツをやって来られた先生がたまたま部活の担当をした場合は良いのですけれども、全然何もやったことがない先生がいきなり新卒で来て「この部活をお願いね」と言われてとても困った。だけど良い経験になったというお話が、去年、一昨年くらいにあったのですけれども、その時に社会体育で専門の指導の方が入ったりするととてもうまく機能していたのですね。ただ、先生によっては競技をやってこられた方で社会体育の関係のコーチの方はいらない、コーチを付けてという方もいらっしゃるので、その辺子どもたちが戸惑っている部分もありますし、実際うちの子どもたちもそうだったのですが、ちゃんと指導してもらいたいのに指導者の方がない。今度、ちゃんとした指導者が来られたら指導してもらいたい子どもがいないという形でうまく機能しなくて3年間部活がうまく回らなかったり、あと、男子バレー一部はいったん廃部にしてしまうと新しく立ち上げるのは難しい

ので休部という形にして今は男女関係なくバレー部として女子も男子も入ってやっていただいているので、バレーをやりたい子にとってはとてもいいと思います。その辺他の部活でもあると思うのですが、うまく来られた顧問の先生と外部のけっこう優秀なコーチの方もいらっしゃると思うので、その方との連携がうまくとれていかないと子どもたちがスポーツも勉強面も両方ですけど、良い形でみんながサポートをしていかないと未来に希望が持てないというか。あとやっぱり2020年の東京オリンピックがありますので、けっこうその関係でスポーツの方では色々世界の良い形を、先生の言われたように取り入れていかないと、日本もやっていかないと世界に通用しないのではないかなんていう話もあって、日本としても機能してきているようですが、どうしても人数の少ないところになってしまうと長野とかと違って、市とか村部とかになると難しくなったりするので、その辺がうまく回っていくとまた希望があったり、やりがいもあったりしていいのかなと思います。よろしくお願いします。

内堀教育長

他に何かございますか。

池田委員

この間、木島平ノルディック大会の大会役員の通知が来たのですが、全日本選抜というのが付いていたんですが、前からですか。

高森課長

今年からです。今年限定なんです。

池田委員

限定なんですか。すごいなあと。これから続いて行くなら。

内堀教育長

今年はということですね。とりあえずは。

池田委員

実はこの時期スキーの関係の中学生ですとか高校生とかは冬の大会に向けてローラースキーとかマラソン大会に、私の知っているところだと山形ですとかに2泊3日で行ったのですが、全日本選抜がここで行われれば県内の選手は負担も少なくなるし、全国レベルの取組みがなされ、努力されているなあと。当日はすべ

てに参加できないのですが大会に顔を出せるようにしたいと思っています。併せてこのスポーツの指導者の方もお見えですので、バランスをとるためにも全日本ですとかそういう大きな大会をおさえていくっていうのではなくて、みんなそちらに向けて応援していくようなそんなスポーツ振興を教育委員会として、教育大綱にありましたように進めていったらというふうに感じた次第です。

内堀教育長

他に何かございますか。  
無ければ次に進めさせていただきます。

## 6 報 告

### (1) 保育園及び小中学校の状況

山寄子育て支援課長が、資料4に基づき保育園及び小中学校の状況について報告した。

### (2) その他

高森生涯学習課長が平塚遺跡発掘調査に係る経過について報告した。

#### ○説 明

内堀教育長

その他で平塚遺跡の発掘について高森課長お願いします。

高森課長

平塚の発掘調査については3か年計画で今年は3年目を迎えまして、今年は8月17日から9月29日までということで予定しておりましたが、ご指摘がありまして、農地法に引っ掛かるのではないかというようなお話がありました。調べてみたところ試掘でも農地の転用の申請が必要ということで、既に手続きを進める段取りで準備を進めております。前後してしまうのですが、許可の申請が必要なものについてやらなかったということで、その辺をご承知おきいただきたいと思います。教育委員会から農業委員会の方へ申請をしまして、農業委員会はさらに上の北信地域の振興局を経由しまして農地の地区審議会というのがあるのですが、そこへ提出しまして許可をいただく形になります。農業委員会が

8月28日にございますので、それに間に合うように書類を出させていただいて、結果が出るのが翌月の中旬以降という話になりまして、半月ほど作業がストップするような形になってしまいますのでご承知おきいただきたいと思ひます。このような事態を招いた原因については、現状は荒廢地のため農地としての認識がなかったという部分もあったかと思ひます。あと、一時的なものであると考へていましたので、農地の申請をする必要がないという考へもあったかと思ひます。もう一つは経験豊かな30年来やられている皆さんが関わっていて、今まで手続きしたためしがないうことで、その辺も認識が不足していたのかと考へられます。いずれにしても、法律は守らなければならないものでありますし、教育委員会でも埋蔵文化財の関係では逆に許可を出す立場であったりするものもありますので、その辺今後はきちんとやっていきたいということでございますのでご理解のほどよろしくお願ひします。

内堀教育長

いま説明のとおり大変申し訳ないことだと思ひています。繰り返さないようにしていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

## 7 その他

### (1) 当面の日程（諸行事・会議等）

山寄子育て支援課長が、当面する諸行事・会議等について説明した。

山寄子育て支援課長が、平成29年度第9回教育委員会の開催日程について提案した。

全委員が了承し、「平成29年度第9回教育委員会を平成29年9月27日（水）午後3時30分から」開催することに決定した。

### (2) その他

山寄子育て支援課長が、5月25日、26日にかけて実施した調布市・木島平村教育委員懇談会及び関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会・研修会に係る旅費等の精算について精算書に基づき説明し、全委員が了承した。

7 閉 会 午後5時21分

内堀教育長が閉会を宣した。

以上、会議の顛末を記録し、相違ないことを証するため署名する。

平成29年8月23日

教 育 長

内堀 幸夫

同職務代理

近藤 秀雄

委 員

山崎 麻紀

委 員

本山 三智子

委 員

池田 剛